様式３(2020.08改)

作成日　令和　3年　1月　26日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100948
事業所名	グループホーム　フレンズハウス七反野

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、管理者は毎月定例会に参加して情報交換をしている。毎年運動会や防災訓練などの町内会行事に参加しているが、今年度は、新型コロナウイルスの影響により町内会行事や小学校や幼稚園児との交流、ボランティアの慰問、外食など殆どの行事が中止となっている。今後状況を見ながら順次再開する予定にしている。現状では公園までの外出と地域ボランティアの草取りなど今できることを継続している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	入居者、町内会長、民生委員、いきいき支援センター職員、福祉事業関係者の参加を得て2か月に1回実施している。現状では、新型コロナウイルスの影響で4月から中止としているが紙面で開催している。案内や運営推進会議議事録を作成し各担当者に配布し意見等はアンケートで返信できるよう工夫をしている。今後、感染予防に対する知識を持ち適切な安全対策を図り、状況を見て開催していく予定にしている。出された意見は、職員で協議しサービスの向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	更新代行手続きや書類提出の際に入居者の状況の報告や相談、サービスの内容などを伝えたりアドバイスや指導を受けたりしている。また地域の困難事例の受け入れの依頼や相談を行うなど良好な協力関係を築いている。毎年、介護フェアーや研修会などに積極的に参加しているが、新型コロナウイルスの影響で今年度は中止となっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。意見や要望などは、申し送りノートに記録してミーティングで検討し、情報を共有して運営に反映させている。新型コロナの影響で面会も制限されるが、電話や訪問時など機会を見つけて聞くようにしている。意見や要望などは、ケアや業務改善に役立てている。お便りを毎月発行し、入居者の日ごろの様子を記載して家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議については、新型コロナウイルスの影響で４月から中止としているが紙面で開催している。案内や運営推進会議議事録を作成し各担当者に配布し意見等はアンケートで返信できるよう工夫をしている。今後、感染予防に対する知識を持ち適切な安全対策を図り、状況を見て開催していく予定にしている。外出自粛が続く中、近隣の散歩や庭の池の鯉を眺めたり、畑の野菜の収穫をしたりして外気に触れる機会を大事にしている。また、手作り食事を持続している中で、外食気分が味わえるようなバイキング形式や職員手作りのサプライズ弁当、バーベキュ、手作りおやつなど施設の中で楽しみながら気分転換を図る工夫をしている。手作りの飛沫ガードを食卓に置いたり席の配置にも気を配っている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										